

保幼小接続期のカリキュラムの軸について

〔横軸〕 【時期】 について

子どもの発達や学びの連続性を意識して、人間関係が深まり学びあいが可能になる年長児10月から、新たな友だちと自覚的な学びをスタートし、運動会等に向け集団を意識して活動するようになる1年生5月までを接続期と設定した。

【幼児期後期】 年長児の10月～3月

- ・ 社会の構成員としての自覚を持って活動を始める。
- ・ 学ぶということを意識しているわけではないが、楽しいことや好きなことに集中することを通じて、様々なことを学んでいく。
- ・ 今まで学んできたことを総合化し、小学生生活に向けて学びを高めていくことができる。

【小学校入門期】 1年生の4月～5月

- ・ 新たな環境の中で良好な人間関係を築くことができる。
- ・ 学ぶということについての意識があり、集中する時間とそうでない時間の区別がつく。
- ・ 与えられた課題を自分の課題として受け止め、計画的に学習を進めることができる。

〔縦軸〕 … 視点 … について

幼児期の教育は、「健康」「環境」「人間関係」「言葉」「表現」という5領域、小学校1年生は、「国語」「算数」「音楽」「図画工作」「体育」「生活」「道徳」「特別活動」という6教科2領域である。これらの領域・教科で接続期の関係性を示すことが困難だったため、幼児期・児童期（低学年）の教育で共通して重視している、直接的・具体的な対象とのかかわりに着目し、「ものとかかわり」「人とかかわり」を視点として項目を整理した。

… ものとかかわり …

- <身の回りのものとかかわり>
- ・ 身の回りの整理整頓・身辺処理等に関すること。
 - ・ 数量・図形・文字等とのかかわりに関すること。
- <自然環境とのかかわり>
- ・ 身の回りの自然環境とのかかわりに関すること。

… 人とかかわり …

- <自分とかかわり>
- ・ 様々な場面での自己発揮や自己表現、自己抑制や自己調整力などの自制心に関すること。
- <他の人・集団とのかかわり>
- ・ グループやクラスなどの集団の中での行動や活動に関すること。